



平成 28 年度 町政懇談会 開催報告

西当別コミュニティーセンター
7月26日(火)

町政運営に大切な施策の推進には、町民の皆さんのご理解とご協力が必要です。町では多くの意見を町政に反映させていくため、7月26日、28日の2日間、町政懇談会を開催しました。

当別町に活気や賑わいを作るため、昨年「当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しましたが、その具体的な取り組みが始まった「道の駅」を中心に活発な論議がありました。

町政懇談会開催状況

西当別コミュニティーセンター

日時：平成 28 年 7 月 26 日（火）
午後 7 時 10 分～午後 9 時 25 分
参加者数：31 人

当別町総合保健福祉センターゆとろ

日時：平成 28 年 7 月 28 日（木）
午後 7 時 10 分～午後 9 時 00 分
参加者数：39 人

町からの説明内容

- ①道の駅の進捗状況について
- ②再生可能エネルギーの取り組み状況について
- ③臨時福祉給付金について
- ④乳幼児医療費等の拡充と保健の窓口一元化について
- ⑤子ども・子育て支援業務の集約化について
- ⑥小麦なまぐさ黒穂病の対応について
- ⑦ふるさと納税情報発信のお願い

質疑応答内容

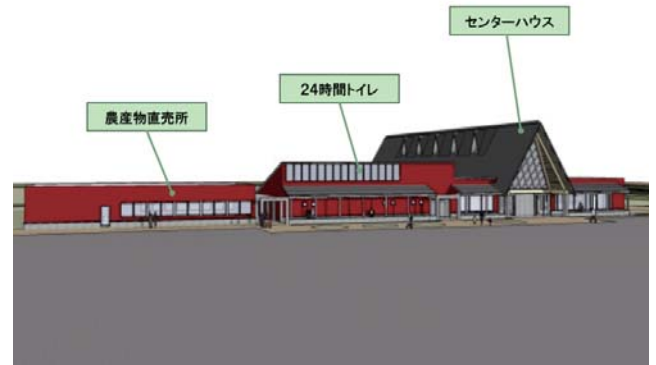
参加していただいた町民の皆さんからの質問や意見について、質疑応答の一部を紹介します。(質問および回答内容は要約しています。)

道の駅の建設・管理運営について

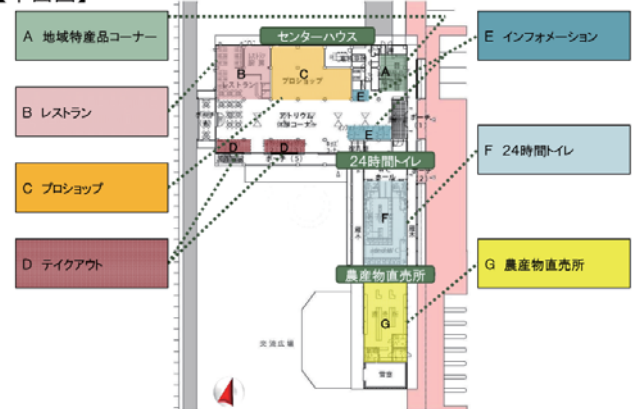
①管理運営会社はどこが主体となって立ち上げるのですか？ ②道の駅は来年9月オープン予定で、その時期は農産物の種類が少ないので、オープンの時期を早める考えはないのですか？ ③1,000人規模のイベント開催を考えているのに、(駐車場が)大型車44台・普通車39台なのですか？ ④プロショップが単なるフードコーナーになるような説明でしたがどうなのですか？ ⑤本体工事の業者が決まっていないのに設備工事だけ契約を済ませているのはどういことですか？ ⑥本体工事の入札はその後どうなっていますか？ ⑦建設費10億7,500万円のうち町の負担はいくらですか？ ⑧管理運営を委託するようですが、町は一切関与しないのですか？ ⑨道の駅の給湯と暖房の熱源に木質バイオマスエネルギーの活用は考えていないのですか？ ⑩直売所を含め通年営業するのですか？ ⑪道の駅と石狩太美駅との連絡道路の整備はどうなっているのですか？ ⑫道の駅建設地は災害から守れる場所なのですか？

回答

①道の駅の管理運営会社は、農協、商工会、金融機関、当別町等となっており、出資割合から考えると、当別町がメインとなる会社構成をイメージしています。②できるだけ早い時期にオープンしたいと考えていますが、建設費が大きいことから、いろいろな補助制度を活用し、工事スケジュールを勘案するとどうしても来年9月の開業となります。これからの検討として、農産物直売所は今年度中の完成を予定しているため、そこだけプレオープンし、農産物の品目が多い時期に販売するというやり方も考えられます。③駐車場の台数は、駐車場の雪の一時堆積場を設けており、イベント開催時にはそのスペースを駐車場として(整備していただく開発局から)お借りするという考えです。④テイクアウト、プロショップについては、基本計画の前の基本構想の段階から、町内大手お菓子メーカーの協力を得ながらやっていくということで、現在、協議を進めており、食べ物屋になったというわけではなく、大きな枠として「食べ物」を扱うということでご理解願いま



【平面図】



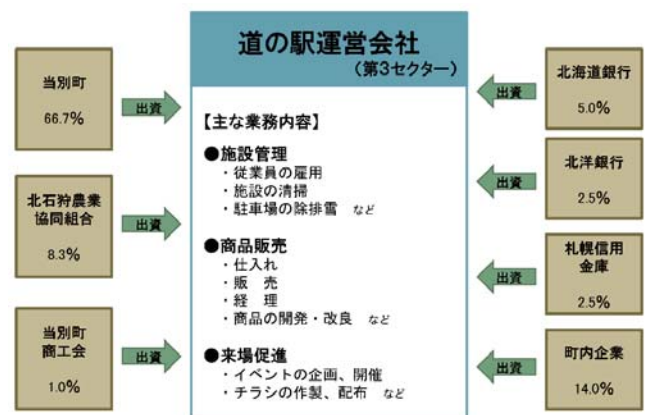
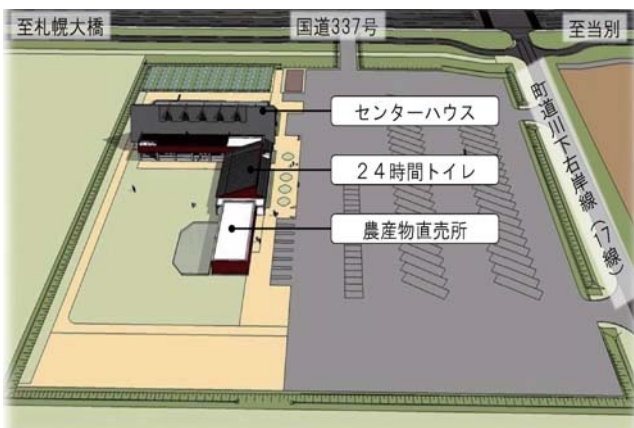
(説明資料の一部)

す。⑤道の駅の関係では5本の入札(本体工事、機械設備、電気設備、外構、工事監理)を実施しており、その方法として、当別町では関連する工事の入札は一度に投函される仕組みとなっています。現在の町の制度の中では入札を取りやめる制度はないので、今回落札されたものについては議会に上程し契約の承認をいただいています。質問にあったとおり、本体工事が落札されていないので、付随する工事が着手できず、本体工事を契約するまで、契約約款に基づいて工事の中止という手法をとっているところです。⑥建築主体工事については不調に終わり、現在未契約という状況になっています。今後については、現在設計書の見直しや入札方法などの再検討を行い、8月中の入札を目指して作業を進めています。現在想定するスケジュールでは若干工期が冬に入ってしまうますが、8月中に落札ができれば、来年9月に開業できる予定です。⑦全体事業費のうち、農林水産省、環境省、北海道等含めて、補助の割合が約4割、4億円程度で、町の負担額については

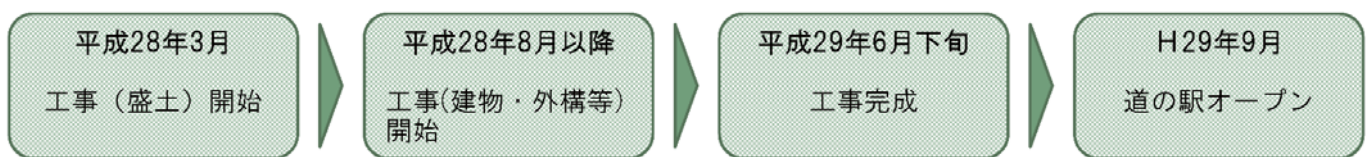
約6億円となっています。⑧出資をするということは、町も一定の関与をしていくと考えています。⑨地中熱ヒートポンプのほか不足分は電気でもかなうこととしています。再生可能エネルギーの活用は、道の駅のランニングコストを抑えるという視点もあり、木質バイオマスを検討しなかったわけではなく、効率的なものを考え、整理したところです。⑩年末年始を除いて通年営業を予定しています。なお、農産物直売所においては、冬に当別の農産物が作れない状況にありますので、どのような運営の仕方がお客さまにとって良いのか、もう少し検討が必要と考えています。⑪太美地区の方に道の駅を利用していただくために、17線や16線といった太美地区の道路網の

あり方等を現在検討しています。太美駅の南側については、生活用道路も十分な整備がされていないため、道路の再配置や宅地の整備も含めて、将来的な土地利用の高度化を図るべく検討しています。道の駅の開業に向けて、コミュニティバスの運行経路やダイヤの見直しなども検討しており、これらのことが決まりましたら、広報等でお知らせします。⑫この地域は防災マップ上も、水害時は浸水する地域になっているため、その時に施設に人がいることを想定して、屋上に一時避難できる場所を用意しています。水害発生時には、道の駅から、高台のほうに避難するよう警告するなどの対応をします。

【道の駅推進室】【企画部】



【道の駅建設のスケジュール】



(説明資料の一部)

太美 地区にはスーパーがありません。道の駅はそういう役割を果たすと、以前に町長が言っていましたが、そうは思えません。町としてスーパーの誘致を考えているのですか？

回答

町としては住民が買い物難民のようにならないよう、スーパー誘致の働きかけをしてきました。現在も営業に行き、誘致活動は続けています。

【副町長】



乳幼児 医療費の拡充の件で、他市町村の状況を教えて欲しい。

回答

石狩管内の状況ですが、今年4月1日現在で入院にかかる補助が18歳・高3相当までなのは当別町のみで、中3までは他の自治体でも実施しています。通院にかかる補助は、札幌市、恵庭市と同じ内容で、妊産婦の交通費助成事業については、石狩管内では当別町だけです。

【保健課】

8月1日から

【入院にかかる医療費】
◇0歳～18歳の年度末まで無料！

【通院にかかる医療費】
◇0歳～小学校就学前は初診時一部負担金のみ！

※入院・通院ともに対象世帯には所得制限があります。

(説明資料の一部)

妊産婦健康診査等交通費助成事業

本年4月から

1 対象者 妊産婦(当別町に住居登録)

2 助成内容

妊婦健診・出産・産後健診を対象に産科医療機関への通院1回に対して960円助成(16回まで)

3 申請方法

出産の日から1年以内に保健課保健医療係まで申請してください。



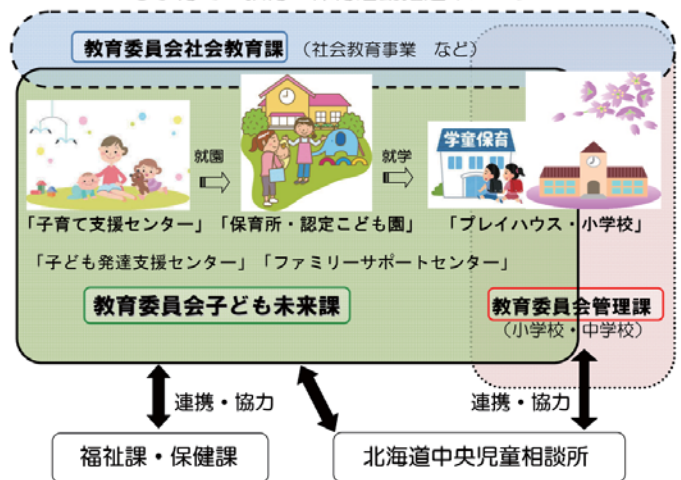
子育て 関係部署の集約化の件で、これで本当にうまく回っていますか、学校教育や福祉部と連携できていますか？

回答

現在、教育委員会子ども未来課の窓口はゆとろの中にあり、福祉部とは連携できる状態となっています。また、教育委員会においては学校教育と連絡調整を行っており連携はとれています。

【子ども未来課】

◎子育て・教育・保育活動推進イメージ



(説明資料の一部)

町内 に食品製造業等を誘致できるよう工業団地を造る考えはないのですか？

回答

道央圏連絡道路(国道337号)が4車線化になり、将来的には新千歳空港、苫小牧港にもつながり、その沿道が物流などの基軸となるよう「道の駅」を拠点として建設しています。この沿道に、農業生産だけでなく付加価値をつけるような加工製造、流通・販売業などの企業を当別と呼び込むための作業をしています。

【企画部】

町ではより多くの町民の皆さんに参加いただき、意見やアイデアをいただけるよう、次年度以降も町政懇談会を開催する予定です。

また、懇談会に参加できない方にも町政に対するご質問やご意見等、今後もさまざまな機会を通じ皆さんの声を聴き、町政運営に役立てていきます。

■ 広報秘書課広報広聴係 (☎ 23 - 3069)